

令和6年度 岩手大学 リカレント教育プログラム

文化資源論

～魅力ある地域資源の顕在化に向けて～

1. 目的：

近年、文化財よりも広い概念として「文化資源」が使用され、文化資源学会が設立されるなど、学問としても確立されようとしています。また、行政においても、観光や地域振興の題材として期待され、文化資源の活用に向けた機運が高まっています。

しかし、文化資源の持つ持続的性格への理解が不十分では、一過性の流行を焦点化した短期的イベントの開催などに流されることとなり、地域属性としての文化資源が顕在化されない危惧があります。

本講座では、岩手地域の文化資源が、これまでどのように人々を惹きつけてきたのかを他者目線で紹介し、また、今後どのような素材が地域の魅力を発信しうるのかについて考えつつ、それらを活用するうえでの課題についても検討していきたいと思えます。

2. 主催：岩手大学

3. 定員：10名程度

4. 受講料：5,000円（資料代など。）

※ご入金方法は、受講をお申込みいただいた方に別途ご連絡を差し上げます。

5. 対象者：広く文化資源の活用に関わっている方。文化資源に興味関心を持っている方。

- ・学校教育関係の方
- ・行政関係の方
- ・文化遺産の案内等に関わっている方
- ・その他、文化遺産と地域の持続的発展について関心を持っている方

6. 会場：岩手大学平泉文化研究センター ほか

〒020-8550 岩手県盛岡市上田三丁目18番33号 教育学部1号館1階

7. 留意事項：全日程の参加が望まれますが、やむを得ない事情等がある場合はこの限りではありません。この場合でも、受講料はお返ししません。

全8コマを受講された方には「修了証」を発行いたします。

8. 申込方法

受講申込書に必要事項を記載の上、ホームページ（<https://www.ccrd.iwate-u.ac.jp/community/>）の申込フォームから6月14日（金）までにお申し込みください。

※締め切り前であっても人数が定員に達し次第締め切らせていただきます。

※新型コロナウイルス等の感染拡大など、やむを得ない事情によって日程を変更する場合もございます。

お問合せ・お申込み

岩手大学地域社会教育推進室(岩手大学研究・地域連携部 研究・地域連携課内)

TEL：019-621-6492 E-mail：pedagogy@iwate-u.ac.jp

〒020-8551 岩手県盛岡市上田4丁目3番5号

参考：受講申込書 一部抜粋

氏名	所属/職名	生年月日
ふりがな.....		年 月 日
住所	連絡先	
〒	TEL	
	E-mail	

※個人情報は当講座の運営のみに利用いたします。

ただし、保健所等からの要請があった場合は情報提供することもありますので予めご了承ください。

応募した動機、本講座で学びたいこと、期待していることをご記入ください。

--

9. カリキュラム

時数	開催日時	内容	講師
1	6月29日(土) 10:20～ 10:30～ 12:10	【開講式】 【講義】「文化資源活用についての総論」 文化資源を活用するにあたってこれまで欠落していた視点は何かを考えながら、地域における文化資源のとらえ方について再確認する。	岩手大学平泉文化研究センター センター長 平原英俊 客員教授 佐藤嘉広
2	6月29日(土) 13:00～14:40	【講義】 「地域文化資源と東アジア思想」 中国文化は日本人の基礎教養として、様々な場で教育が行われてきた。その中心的思想である儒学と地域の文化資源との関係を探る。	岩手大学平泉文化研究センター 客員教授 藪 敏裕
3	6月29日(土) 14:50～16:30	【講義】「文化資源としての歴史素材」 岩手県周辺に所在する歴史素材はどのような文化資源となりうるのか。具体例とともに、歴史と文化資源との関係を探る。	岩手大学平泉文化研究センター 客員教授 佐藤嘉広
4	7月13日(土) 10:30～12:10	【講義】 「文化資源としての岩手ゆかりの文学」 賢治の作品や遠野の民話など、文化資源としての文学が岩手には多くある。その事例を紹介しながら、文学と文化資源との関係を探る。	岩手大学平泉文化研究センター 教育学部准教授 船越亮佑
5	7月13日(土) 13:00～14:40	【講義】 「民俗芸能と地域～芸能を生み出す神社・仏閣～」 岩手には多くの民俗芸能が伝わっている。それらはどのような舞台装置を備えているのか、蘇民祭、神楽、剣舞などを例に探る。	岩手県立博物館 学芸員 川向富貴子
6	7月13日(土) 14:50～16:30	【講義】 「国際的な文化資源～世界遺産とその周辺～」 世界遺産を単なる観光素材として考えるのではなく、遺産の持つ顕著な普遍的価値と文化資源との関係について探る。	岩手大学平泉文化研究センター 客員教授 佐藤嘉広
7	7月27日(土) 10:30～12:10	【講義/演習】「芸術資源～書道の視点から～」 他の都道府県の芸術書道に関する事例を鑑み、岩手における持続的性質を持つ文化資源について、受講者とともに可能性を探る。	岩手大学平泉文化研究センター 人文社会科学部准教授 久保田陽子
8	7月27日(土) 13:00～14:40 14:50～	【演習】 「受講者が再認識した地域資源の活用」 受講内容をもとに、各受講者が再認識した文化資源について、それらの活用方法などを意見交換する。 【閉講式】	岩手大学平泉文化研究センター センター長 平原英俊 客員教授 佐藤嘉広

